

パブリックコメント意見・回答

意見 番号	頁	意見内容	市の考え方	担当課
1	1	私は家庭訪問型子育て支援の「ホームスタート」を初めて利用させていただきました。 2人目が生まれて余裕のない日々から上の子とうまく接することができず、育児から逃れたいと思うようになっていました。 そんな時、青少年児童センターに行った際に、私の様子に気付かれた方がホームスタートの存在を教えてくださいました。 初対面だったにも関わらず、私の育児へのストレスをすぐに感じ取り親身になって話を聞いてくださいました。 短時間でしたが気持ちが少しラクになったため、ホームスタートを是非利用してみたいと思いました。 自分の家に訪問しに来るということだったので最初は緊張しましたが、実際に利用してみるとビジターさんが親身になって私の話を聞いてくださったり、子どもたちと一緒に遊んでくださったりするので、私だけでなく子どもたちも伸び伸びとして楽しそうな表情になっていき、緊張がすぐに和らぎました。 ビジターさんは私の親世代なので、親と話しているようなそんなあたたかな雰囲気を感じました。また、自分の家で行うからこそ、気持ち良い時間を過ごすことができるのだと実感しました。 実家に頼りたくても頼れない…そんな時身内ではなくても大人が1人いてくれるだけで、こんなにも私の心に余裕がもてるのだと感じ驚きました。 また、ビジターさんは子育て経験者なので、会話はどれも参考になることばかりで不安なことが少しずつ解消されていくのを実感しました。 どんなことでも「大丈夫」「よく頑張っている」など励ましのお言葉をいただけたので嬉しくなり、また今日から頑張ろうと前向きな気持ちにさせてもらいました。	本市では、「身近な地域で支え合う子育て支援の推進」を計画の施策の柱に位置付けております。 ご意見を今後の施策に活かし、安心して子育てできる環境づくりに努めてまいります。	子ども 家庭課

意見 番号	頁	意見内容	市の考え方	担当課
		ビジターさんを引き受けている方々は、皆さんボランティアでされているということを伺い、子育て家族を心から支援したいという気持ちで接してくださるというそのお心に感動しました。 こんなにも良いものなのに、利用は全て無料ということで申し訳ない気持ちになりました。ただ金銭目的ではなく、地域全体で次世代の子育てを心から支援していきたいとの思いで立ち上げられた方に心から感謝の気持ちでいっぱいです。 このような子育て支援が長久手市にあることは素晴らしいことです。さすが子育てに優しい街です。 <u>子育て家族のみなさんにもっとホームスタートの存在を知っていただき、こんなにも良いものがあるんだと実感していただきたいです。</u> 現在子育て中の私としては、正直「育児にストレスを感じている」「助けてほしい」と周囲になかなか発信しにくいと感じています。 そんな時、ホームスタートがもっと広まって色んな方々に知られていれば、ホームスタートを必要としている方たちが利用できる機会が増えていくと思います。 そして一昔前の様に、子供はみんなで見守り、育てていくというあたたかい輪がまた広がっていくのではないかと感じます。 引っ越して間もない頃、長久手市役所を訪れた際、通りすぎる職員の方が次々に「こんにちは」と挨拶をしてくださったり、「どうかされましたか？」「大丈夫ですか？」とお声掛けくださったりして驚いたのを覚えています。 こんなにもあたたかな雰囲気の長久手市に住むことができてよかったと感じました。<u>家族のあり方の変化やコロナ渦もあり、人と関わるのが薄れてきた現代、私は、長久手市だからこそできる、人のあたたかみを感じる事ができる、そんな地域を作って行って欲しいと願っております。</u>		

意見 番号	頁	意見内容	市の考え方	担当課
2	1	P19 P20	女性就業率→母親の就業率	子ども 政策課
	2	P39 ～	施策の展開に関して、実績と目標値の母数が違うもの（利用人数など）は母数に対する割合で示した方がわかりやすい（特に維持、減少のもの）	子ども 政策課
	3	P40	No. 6 保育士配置充実という事業に対して目標値が下がっている。記述間違いか？ No. 6 は長久手市独自の保育士配置の基準（1歳児4人に対し保育士1人）を設け、保育の質を確保する事業です。 目標値の対象施設が1施設、減少する理由は、令和8年度末に長湫東保育園が閉園するためです。 現在、実施している園については、今後も継続して実施します。	子ども 未来課
	4	P42	No. 18 児童数減少に対して年間利用者数3,433人増（一日10人以上増加）は現実的か？根拠の提示が欲しい 目標値の算定の根拠は、基準年度である令和5年度利用者から約5%の増を見込んでいます。 利用者のニーズを把握し、乳幼児の親子を対象とした取組みを積極的に実施するなどにより、十分達成可能な目標であると考えています。	子ども 未来課
	5	P43	多様な保育事業を展開するにあたり（育休退園も廃止になる）保育園の定員56人増加のみで受け入れきれぬのか。数的根拠の提示がほしい 保育園の定員は、保育園の「利用定員数」を指しています。多様なサービスの充実として実施する延長保育や土曜日保育等については、保育園に既に入園している方が対象のため、保育園の利用定員数内で実施することとなります。 また、病児・病後児保育事業については保育園とは異なる施設で定員等を設定し、事業を実施していることから、保育園の利用定員数とは直接関連しません。 なお、保育園の利用定員数は、今後の保育需要を見込んで設定しております。	子ども 未来課

意見 番号	頁	意見内容	市の考え方	担当課
6	P44	No. 26 91 人→24 人は正しい数値か？ 受け入れ先がないための減少であれば受け入れ先の検討（増加）を目標としてはどうか	令和 5 年度は利用頻度が高い方が複数人いたため、例年より延べ利用者がかかなり多くなりました。 令和 4 年度以前を含めた利用実績及び児童人口推計値から試算しています。受け入れ先については増加の予定はありません。	子ども 家庭課
7	P44	No. 30 目標数値は正しいか。施設数は増えずに年間 17, 001 人増の根拠説明がほしい	令和 5 年度実績は、コロナ禍が落ち着いた直後で外出を控える人が多かったと推測しています。 そのため、コロナ禍以前の利用実績を踏まて、子育て支援センターの 1 日入館可能人数と開館日から試算した数値としております。	子ども 家庭課
8	P45	No. 31 事業内容と目標数値があっていない。啓発を行うのであれば、啓発に関する具体策に対する目標数値が必要	親子健康手帳交付時に制度等について周知を行っているため、交付人数＝周知人数として、この目標としています。 ただし、記載内容が分かりにくいため、表現を変更します。	子ども 家庭課
9	P47	施策の柱 2 で困窮子育て世帯が増えると考えられているのに対して、事業の目標値が維持・減少のところをもう少し目標高く持っていただきたい。（NO. 49、NO. 50 等）	支援が必要な方に対し、適切な支援を行うことを事業の目標としています。 今後も、実態を踏まえながら事業の継続に努めてまいります。	保険 医療課
10	P49	No. 46 愛知県と長久手市の数値が逆ではないか？	長久手市の遺児手当は、支給にかかる所得制限等が無いため、愛知県の手当受給者数（長久手市内での受給者）に比べ高い数値となっております。計画案の記載は正しい数値となります。 ただし、記載内容が分かりにくいため、表現を変更します。	子ども 家庭課
11	P49	再掲保育料の軽減 事業内容は正しいか	No. 11 の事業内容の表記となります。誤記入であるため、記載内容を変更します。	子ども 政策課

